

口内法X線撮影イメージングプレート専用保護カバー

【本学発明者】 有地 榮一郎（歯学部 歯科放射線学講座 教授）
清水 康行（歯学部 歯科放射線学講座 招へい教員）
蛭川 亜紀子（歯学部附属病院 放射線技術部技師長）

【関連特許情報】 『口内法X線撮影用の感光体の保護カバー』
株式会社フラット、学校法人愛知学院
特許第6038751号（平成28年11月11日登録）

本学は平成25年度より、X線撮影用イメージングプレート（以下「IP」という。）を保護するカバーを（株）フラットと共同で開発した。

これまでにあった技術的課題

口腔内にフィルムを挿入してX線撮影する口内法撮影は、近年デジタル化が進んでおり、X線撮影時にはフィルムに代わってIPを用いるケースが増えてきている。そのため、X線撮影時における患者の唾液等からIPを保護すべく様々な形状の専用保護カバーが販売されているが、「唾液が混入しやすい」、「患者の口腔粘膜を傷付ける」等といった課題があった。

新たな形状の保護カバーの開発

上記課題を解決すべく、（株）フラットと共同で、外袋と内袋の2種類のIP専用保護カバーを開発した。この保護カバーは、IPを二重に保護することができるので、患者の唾液が混入することもなく、X線撮影後IP本体に触れることなく取り出せるため、衛生面においても有用である。また、全体的に丸みを帯びた形状となっており、安全に患者の口腔内で使用することができる。

現在、（株）フラットから「**フラットバッグ**」の名称で販売されている。

【参考URL】 <http://www.k-flat.co.jp/index.html>
（株）フラットのホームページ

